

■ 調査問題と各教科書(3年生)の学習内容の対応①

問題番号 1	中学生に対して、卒業生である高校生がスピーチを行う場面。 →ここでは、動画を効果的に活用した話し方について考えたり、相手の話に対するお礼の言葉としてふさわしい内容や言葉遣いで話したりすることを求めている。			
	出題の趣旨	活用事例(光村図書)	活用事例(東京書籍)	活用事例(三省堂)
設問 1	資料や機器などを効果的に活用した話し方について理解しているかどうかを見る。 ►指導事項(2年) A話すこと・聞くことウ	「社会との関わりを伝えよう～相手や目的に応じたスピーチをする～」 「話し合って提案をまとめよう～課題解決に向けて会議を開く～」 ○学習に入る前に、生徒のレディネスを把握したり、学習後に力が定着しているかどうかをみたりするため、調査問題を活用することが考えられる。 →資料や機器の活用に課題がある場合は、プレゼンテーションやポスターセッションなどの活動を通した学習を行うよう工夫する。 →分かりやすく伝えることに課題がある場合は、「推敲して文章を整える」との関連を図ることも効果的である。	「場面に応じて話そう～条件スピーチ」 「話し合いで問題を解決しよう～チャート式討論～」 ○学習に入る前に、生徒のレディネスを把握したり、学習後に力が定着しているかどうかをみたりするため、調査問題を活用することが考えられる。 →資料や機器の活用に課題がある場合は、プレゼンテーションやポスターセッションなどの活動を通した学習を行うよう工夫する。 →分かりやすく伝えることに課題がある場合は、はじめに「目的や相手に応じて説明する」に示された2つの観点を確かななど、学習の進め方を工夫する。	「状況に応じて話す力を養う～ブックトーク～」 「合意を形成し、課題を解決する～企画会議～」 「問い合わせをもとに語り合う～ワールド・カフェ～」 ○学習に入る前に、生徒のレディネスを把握したり、学習後に力が定着しているかどうかをみたりするため、調査問題を活用することが考えられる。 →資料や機器の活用に課題がある場合は、プレゼンテーションやポスターセッションなどの活動を通した学習を行うよう工夫する。 →分かりやすく伝えることに課題がある場合は、各教材で示されている「話し合いのポイント」を単元の初めに扱うなど、学習の進め方を工夫する。
設問 3	自分の考えが相手に分かりやすく伝わるように工夫して話すことができるかどうかを見る。 ►指導事項(1年) A話すこと・聞くことイ			

※[設問2]については、以下を踏まえて行う書写の時間の中で、調査問題を活用することが考えられる。

(3年・指導事項)「身の回りの多様な文字に関心をもち、効果的に文字を書くこと」

(3年・配当字数)「年間10単位時間程度とすること」

■ 調査問題と各教科書(3年生)の学習内容の対応②

問題番号 3	<p>「卒業」をテーマに俳句を創作する場面。 →ここでは、俳句に用いる言葉を複数を候補の中から選び、その言葉を選んだ理由を書くことを求めている。</p>			
出題の趣旨	活用事例(光村図書)	活用事例(東京書籍)	活用事例(三省堂)	
設問 自分の考えが読み手に効果的に伝わるよう に、説明や具体例を加えて書くことができるか どうかを見る。 ➤指導事項(2年) B書くことウ	<p>「説得力のある文章を書こう～批評文を書く～」 -論理の展開や表現の仕方を工夫し、説得力のある文章を書く。</p> <p>○学習に入る前に、生徒のレディネスを把握するために、調査問題を活用することが考えられる。 →説明や具体例を加えて書くことに課題がある場合には、「学習の窓」に示されているポイント(「判断や評価の根拠を明確にし、表現を工夫する」など)とあわせて扱うなど、学習の進め方を工夫する。</p>	<p>「観察・分析して論じよう～批評文～」 -論の進め方を工夫し、資料を参考にしたり引用したりして、説得力のある批評文を書く。</p> <p>○学習に入る前に、生徒のレディネスを把握するために、調査問題を活用することが考えられる。 →説明や具体例を加えて書くことに課題がある場合には、「言葉の力」に示されているポイント(「自分の判断の根拠はできるだけ具体的に示す」など)とあわせて扱うなど、学習の進め方を工夫する。</p>	<p>「批評文～観察や分析をとおして判断する～」 -書いた文章を互いに評価し合うことによって、表現をよりよいものに高める。</p> <p>○学習に入る前に、生徒のレディネスを把握するために、調査問題を活用することが考えられる。 →説明や具体例を加えて書くことに課題がある場合には、「判断や評価の根拠を補強する」の学習活動と関連させて扱うなど、学習の進め方を工夫する。</p>	